

原水爆禁止世界大会に参加して



広島



長崎

2025年、広島に原子爆弾が投下されて80年を迎える原水爆禁止世界大会・平和祈念式に参加させていただきました。

8月4・6日に開催された広島での大会は日本全国から大勢の参加者が集い活気に満ちていました。被爆者の証言や原水爆禁止運動に取り組まれている方のお話を聞くことができ、原爆投下の当時の広島市の廃墟と化した街並み、被爆された方たちの絶望感が生々しく伝わってきました。平和記念公園では原爆の子の像に千羽鶴を捧げ、平和祈念式に参加し今まで生きてきた平和が当たり前の事ではなく先人の方の様々な被害の上で成り立っていることに哀悼の気持ちになりました。

今回参加させていただき感じたことは、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ紛争等、海外では当たり前の様に戦争が起きている状況で終戦から80年間戦争がなかった日本でも、いつ戦争が起きてもおかしくない時代に入ってきていること、そして広島県知事が話されていた『核抑止』の是非と核兵器廃絶への訴えを続けていかなければ核戦争が起き人類存続の危機に陥りかねないということです。80年という年月で被爆者が10万人を割っているなか、被爆二世以降の方々や今回世界大会に参加した我々が少しでも戦争や原爆の恐ろしさを風化させないために次世代や日本から世界に『NO WAR! NO NUKES!』と発信していかなければならないと思いました。

みなと生協診療所
理学療法士 井口 浩紀

医療費の支払いでお困りの方一度ご相談ください 必要な診察・治療を受けていただく事が何よりも大切です

無料低額診療事業 実施診療所
・みなと生協診療所・たいしょう生協診療所(医科・歯科)・ながほり通り診療所・西成民主診療所
TEL.06-6571-5594 TEL.06-6554-1197(医)/TEL.06-6554-8841(歯) TEL.06-6533-0106 TEL.06-6659-1010

ma² CHOCO

ママ・ちょこ 114

たいしょうこども食堂は「たいしょうみんなの食堂」に!

こんにちは!!このたび「たいしょうこども食堂」は、7月より名称を「たいしょうみんなの食堂」に変更いたしました。これまで子どもたちの活動を中心にしていましたが、今後は子どもも大人も、誰もが気軽に立ち寄れる居場所を目指していくことになりました。食事を通じて地域のつながりを育み、みんなで笑顔になれる食堂をつくっていきます。月1回定期的に開催予定ですので、これからもどうぞよろしくお願いいたします!!

※9月の予定はSNSから確認をお願いします(右記二次元コード)。



理事会報告

第2回 理事会

日時 2025年7月19日[土]
午後2時30分～午後5時

場所 地域交流センター 大正晴ればれ 4階ホール

出席 理事 22名/27名中 監事 1名/3名

常務会議事・主要項目 協議事項

- (1) 第14回通常総代会の結果について
- (2) 50周年企画「6.22 記念のつどい」の結果について
- (3) 医療福祉生協連・大阪府生協連・民医連・他団体
 - 1.8/30(土) 医療福祉生協連まちづくり交流集会開催予定
 - 2.7/29(火) 大阪府民医連経営活動交流集会開催予定
 - 3.7/12(土)～13(日) 大阪府生協連能登半島地震被災地支援ボランティア参加 2名

第2回定例理事会 協議承認事項

- 第1号議案: 6月度の事業活動報告の件
- 第2号議案: 役員報酬決定の件
- 第3号議案: 常勤役員退職慰労金決定の件
- 第4号議案: 組合員交流集会開催の件(9/28)
- 第5号議案: 新春学習互礼会開催の件(2026.1)
- 第6号議案: 就業規則一部改正の件
- 第7号議案: たいしょう生協歯科消毒洗浄機器購入の件

各報告承認事項について

- ① 事業に関する報告(無料低額診療の適用等): 報告あり
 - ② 2項組合員の加入: 6月度分
- 次回 第3回定例理事会日程
8月23日[土] 午後2時30分～午後5時
地域交流センター 大正晴ればれ



みんな大満足でした

155
今月の
いちまい



照る日曇る日

西成民主診療所 前所長 小児科医 大里 光伸

まだ、運転免許を保有していた頃、和歌山県の新宮市まで出かけた事があった。車窓右手に太平洋を見ながら、長い旅路をひたすらはしりつづけた。

新宮は、「補陀落渡海(ふだらくとかい)」の地。その信仰では、僧侶が、小舟で、浄土をめざしたが、そのほとんどがそのまま帰らぬ身であった。

また彼の地には、秦の始皇帝が不老不死の薬を所望し、日本に遣わせたとされる徐福伝説が残っている。詩人の佐藤春夫作詞の新宮市歌のなかにも「徐福もこゝに來たりとか」とある。新宮人の根底には、海を隔てた異国への憧れも深いようだ。

明治後期、この地で、医業を営んだのが、大石誠之助。ドクトルは「毒取る」と親しまれ、「貧しい人からはお金を取らない。そのぶん、金持ちから多めにとる。」との診療スタイルのかたわら、「太平洋食堂」と名づけ子どもたちなどに食事提供する施設を開設した。今で言う「無料低額診療」、「子ども食堂」や「デイケア」の偉大な先駆けである。

「医者をやっとしたら、貧しい者、虐げられている者、苦しんでいる者がおるのがいやでも目に入ってくる。…その現実から目を背け、手をこまねいて生きていけるもんやろか？」というのが、

彼の信条であった。

やがて、幸徳秋水らの社会主義者と面識を深め、その結果、「大逆事件」という、山県有朋をはじめとする、時の為政者による卑劣なフレームアップ(謀略)で、刑場の露と消えた。

「みな頭の頭に、よく晴れた秋空がひろがっている。川が流れ、海へと流れ込む。そこはもう、太平洋だ。」(柳広司「太平洋食堂」(小学館文庫)より)

彼の願いは、残念なことに一旦途絶えたようにも見えるが、今になり、新たな形で実現している、そんなことを考えながら、太平洋(パシフィック・オーシャン=平和な大海)をゆっくり眺めてみたいと心から思う。

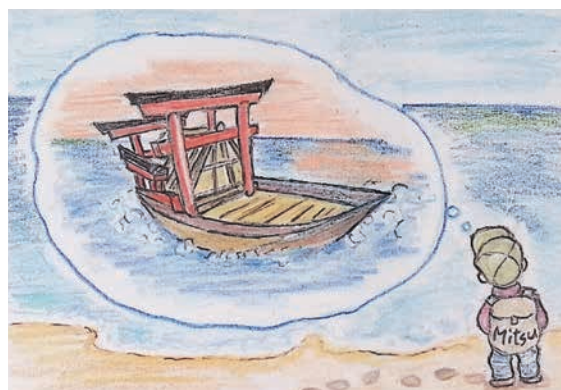


イラスト:小松美香さん、「那智勝浦町の復元船」より

10周年

おおさかまるごと

健康チャレンジ2025

2000人の登録をめざします! /

(2024年は1700人目標で1984人が登録)

今年も、おおさかまるごと健康チャレンジ(秋の健チャレ)の

登録が始まっています!

申し込み締切

9月20日(土)

● 9月20日(土)の折込みパンフレットをご覧ください

とりくみ期間

10~11月

● 2か月
● ジュニアチャレンジは1か月です

報告書提出締切

12月20日(土)

● 提出すると個人賞やグループ賞がもらえます!

生涯を通じて心も体も元気であることは、幸せな暮らしの原点であり、そのためにはウォーキングや食生活の見直しなど、日々のちょっとした習慣がポイントに!

でも、一人で続けるのってなかなか難しいことも…。そんなときは、家族や友だち、職場の仲間と一緒にみんなでやれば、楽しさも倍増。誘いあって一緒にチャレンジしてみましょう!

個人でもグループ(ご家族・ご友人・趣味や職場の仲間が5人以上)でも登録可能。9月20日折込みのパンフレット、裏面の登録ハガキにチャレンジ内容を記入し、支部の運営委員さんか事業所職員にお渡しください。表紙の二次元コードからのネット登録や、郵送登録もできます。昨年度取り組みされた方はもちろん、生協未加入の方も登録可能です。目標は2000人です。是非達成しましょう!!

※グループ登録の方も各々で登録してください



お誘い行動でポスターやパンフレットが必要な場合はエリア組活部まで

能登半島地震被災地支援報告

7月12日~13日能登半島地震被災地支援ボランティア(大阪府生協府連主催)に、西成エリアよりヘルパーの竹中千琴さんとご家族の中学2年生が参加しました。

今現在も震災時のまま、倒壊した建物、土砂や水害跡が手付かずのまま放置されているエリアが多数ある事を目の当たりにし言葉を失いました。今回の支援でたこ焼きを一緒に焼きながら現地(輪島市)の方のお話を聞きました。海沿いの生活に必須だった道が最近やつと復興されたようですが、それでも医療や福祉を利用するには1時間以上かかるそうです(以前は回り道を強いられ倍程の時間がかかったそうです)。

息子も同行したのですが私以上に驚きながらも「復興してきている」という前向きな言葉を現地の方が喜んでおられた事が印象的でした。実際に被災地に行き、復興途中の町の大変さを肌で感じたり、その被災地で生活する方とのふれあいを通じて、それでも前を向いて生きていく姿をみて、私も息子も、とてもいい勉強になったと改めて感じています。このような機会を与えて頂きありがとうございます。ありがとうございました。

ヘルパーステーションわかば 竹中千琴



が印象的でした。広島、長崎だけで

広島・長崎での原水爆禁止世界大会に参加して



他人事として捉えない

みなと生協診療所
看護師 曾山 未来

大会に参加するまでは、毎年8月に追悼の放送を見ても、「そうか、もう1年経ったのか」程度にしか思っていませんでした。またロシアのウクライナ侵略、イスラエルとアメリカによるイランへの先制攻撃などは認識していましたが、日本は核も保有していないため安全であるとはかり考えていました。でも実際には再び核使用の危機に直面しており、日本政府は核兵器の使用は非人道的な結果をもたらすことを認める一方で核抑止政策を行っており二重基準の状態であると学びました。そして当事者の話をきいてより一層他人事と捉えるのではなく核廃絶のために、全ての人が平和に過ごせるように、今回の学びを職場や地域で発信し自分自身も平和活動に参加し続けたいと思います。

同じ悲劇を
繰り返さないように

訪問看護ステーションさくら通り
看護師 吉武 智香子

今回初めて長崎の原水爆禁止世界大会に参加しました。こうした大会を初めて知り、また、

の崩れ落ちた鐘楼などから、核兵器の恐怖が感じられました。遺構巡りをする中で、当時の人々が日常を過ごしている中、原爆が落とされ地獄に叩きつけられたのかと思うと自然と核兵器への怒り、憎しみが湧いてきました。大会を通して感じたことは、核兵器は何の解決手段にもならない、核兵器を所有することは国民として世界の人々に核と戦争の恐怖を植え付けることに他ならないということでした。核兵器を世界からなくすこと、日本の核兵器禁止条約の署名、批准を早急にしなければ人間は自分自身の手で滅亡してしまうと危機感を覚えました。

草の根活動でコソコソと

訪問看護ステーションさくら通り
サテライト そよかせ
看護師 箱崎 理恵

被爆体験を証言できる被爆者が高齢で減り、活動が難しくなっている現状が浮き彫りになっている今、活動を担う、高校生や小中学生など、若い世代が多く参加されていると感じま

した。特に、映像、絵、歌などで表

現されていたため、説得力があり、

子供や海外の皆さんにも平和の尊さが

が伝わったと思います。広島の高校生

が「他県の同世代の子は原爆のことを

をきちんと学んでいない」という言葉

日本のみならず、水爆実験の被害にあわれた方

や他国で戦争被害にあった方など世界中の方が

参加されていることを知りました。被爆者の方

の話を聞き、被爆の後遺症で苦しんでいること、

家族や身の回りの方々を亡くした深い悲しみや

被爆による差別や偏見、経済的な困難があるこ

とも知りました。

戦後80年、被爆者の方々も高齢になり少なく

なってきたいますが、この悲惨な事態を後世に

伝え、同じこと

が繰り返されない

ようにしないとい

けません。その

ためにも私たち

は、戦争反対、

核兵器廃絶を今

後も訴え続けな

ければいけないと

感じました。



原水爆禁止世界大会長崎に
参加して

たいしょう生協診療所
事務 片伯部 翔聖

昨年の広島に続き、長崎でも原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。分科会では長崎の原爆遺構を徒歩で巡り、復興を遂げた中でも当時の爪痕（小学校の防空壕、浦上天主堂

なく、小さい時からの初期教育が必要だと思

います。

大阪きづがわでも、草の根活動をしっかり進

めたいです。広島で学んだことを家族、友達、

職場の仲間に、コソコソ伝えたいです。

今こそ日本が先頭に

ヘルパーステーションわかば
伊藤 憲太郎

広島で行われた原水爆禁止世界大会へ行かせて

いただきました。被爆者の方のお話を聞きま

した。爆心地から約4キロ離れた自宅で被爆、

一命を取り留めましたが、戦後待っていたのは、

生き残ったことへの負い目と心無い言葉でした。

友人の遺族からは「真面目に行つた子が死んで

サボったもんが生き残って」と言われたそうです。

今回参加して思った事は、核兵器はいらない、

本来なら唯一の被爆国の日本が核兵器禁止条約

に参加すべきですが今の日本はアメリカの核の

傘による抑止力に依存しています。日本は今す

ぐ核兵器禁止条約に

オブザーバーとして参

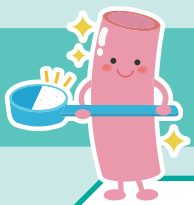
加し署名と批准をし

て欲しい、被爆国の

日本だからこそ世界

を引っ張っていつて欲

しいと思いました。



第2回

きづがわ すこしお週間

やってみよう!はじめてみよう!がんばりすぎない「すこしお」生活

参加賞!
すこしおレシピ集
プレゼント

すこしお週間とは?

やることは
2つだけ!

①自分の塩分摂取量を知る

尿チェックと塩分チェックシートで
塩分量を調べます。

②1週間とりくむ減塩チャレンジ項目を設定

野菜を多めに摂る、汁物は残すなど、できそうな項目を
選んで始められます。取り組めたらカレンダーにチェック。

チャレンジ期間:10月13日(月)~19日(日)

すこしお週間に参加希望の方は
以下の学習会に出席してください!

●すこしお学習会&すこしお週間説明会 日時 10月11日(土) 午後2時~4時

※会場は、各エリアに設置します。申し込みは各エリア組合員活動部まで。

●西成 ☎ 06-6658-7400 ●大正 ☎ 06-6554-1383 ●港 ☎ 06-6571-0606



職員募集

●求人詳細は当生協ホームページにて
<http://www.osaka-kizugawa.coop>
各事業所又は本部 (06-4394-8500) まで



- 理学療法士
- 作業療法士
- 保育士
- ケアマネジャー
- 介護福祉士
- ホームヘルパー
- 介護スタッフ
- 管理栄養士
- 看護師(訪問)

		5	2					
3				7		1		
	6				4		8	
		9			6	4		2
	5		3					
7					1			6
				8		2		
	3				5		1	
1				6				4

●2025年7月号のナンバープレースの答えは【6+9=15】でした

あたまの体操 ナンバープレース

タテ・ヨコの同列内、太枠のブロック内に同じ数字が重ならないよう、1〜9の数字をつめましょう。二重枠の数字の合計を答えてください。

左の絵は右と7ヶ所の
まちがいがあります。

どこ？どこ
まちがいさがし

まちがい7ヶ所



7月号の
こたえ

応募総数78名で
正解者78名でした。

7月号の当選者 20名

景品カード当選者は発送をもって発表に替
えさせていただきます。
※今月はクオカード
抽選は毎月第一月曜日に行っています。見学
されたい方は、ご一報の上、お越しください。

【ハガキ 応募方法】

解答イラストを切り取り、ハガキに貼って下
記住所までお送りください。

*ハガキ・メールとも氏名、住所、連絡先、今号の記事への感想やご意見、近況などをお書き添え
ください。また、ナンバープレース・まちがいさがしのどちらを解答していただいても構いません。

正解者の中から抽選で20名の方にクオカード(500円)を進呈!

郵便番号は正確に

〒556-0024 塩草2-2-31

大阪きづがわ生協「みらい」係
mirai1@osaka-kizugawa.coop



どしどし応募
お待ちしております

9月末日 必着

●祭りの思い出はいつばいありますけど、祇園祭の話をしますと、40年以上前ですが四条河原町の喫茶店で働いてまして、1年で一番忙しいんですけど昼過ぎ一瞬ヒマな時があつて、それが目の前を薙刀鉾が通る時でみんなそれを見ているからヒマなんですけど、私もどさくさ紛れに一緒に見ていた事を覚えてます。

大正区 山田昌幸さん

大正区 ためぞーさん

●子供の時の、いなかでの盆踊りや花火大会は楽しかったです。

大正区 A.K.さん

●丹波篠山では毎年8月にデカンショ祭が開かれ、町ごとに踊りながら会場まで行きます。どこかの連が良かったか審査もあり、幼い頃から生懸命踊っていました。

港区 三姉妹の母さん

●5〜6歳頃の村の秋まつり、少ないこづかいを使える唯一の機会でした。セルロイドの10cm位のキューピー人形を買って、とてもうれしかったのを一番に思い出しました。

港区 山口幸弘さん

大正区 こづちゃんさん

●親が厳しかったですね。社会人になっても、門限がありました。ただ、お祭りの時は例外で、友達と夜会えるのが楽しくて新鮮でした。おしゃべりして、ワフワフドキドキしたあの頃の夏が懐かしい。そんなお祭りも、子育てが終わってからは一度も行っていないですね。

西区 井上和歌さん

港区 トモリンさん

●50周年を祝うつどいに参加して来ました。色々なコーナーがあったのですが、パフォーマーのちゃんへんさんのトークが心に残りました。お米は当たりませんでした。楽しい時間を過ごす事が出来ました。有り難うございました。

港区 松岡 豊明さん

大正区 匿名さん

西成区 きんじさん

●いつもみらいが届くのを楽しみにしています。重いの配達してくださりありがとうございます。平和の思いを次の世代にも引き継いでいってほしいものです。

西区 脇村 早苗さん

阿倍野区 「ンチメンタル」さん

港区 松尾 美智子さん

大正区 熊谷 潤子さん

大正区 熊谷 繁雄さん

港区 藤田 紀江さん

西成区 吉田 ちなみ・しげゆきさん

●先日息子さんが2歳になりました。以前こちらで当選したクオカードで、「どんなにうがすき」という絵本を購入して読み聞かせています。どんなにうがすき」と聞いてくれると「あかー」や「あー」や「きー」など元気な返答が返ってきます。当たりますように。

西区 松本 佳海さん

港区 ヒロちゃんさん

大正区 三島 清子さん

大正区 満崎 ヒロミさん

大正区 谷口 昌彦さん

港区 打越 節子さん

阿倍野区 けいちゃんさん

●今日マンションの給水ポンプ取り替えのため、断水の1日でした。朝から夕方までの時間だけでも水が使えなかったことに不便さを感じ、断水が終わったヤッター！使える！となりました。日常で蛇口を捻れば当たり前水道から出てくる水、感謝して使わなければならぬなあと改めて思いました。

西区 西向 祐子さん

港区 川原 重信さん

大正区 たぬきさん

大正区 岡本 清美さん

港区 尼子 雅海さん

7月号で募集したテーマ お祭りの思い出

●小学生の頃は八坂神社の夏祭りで山車を声を出しながら引いて町を回って祭りに参加した

もっとひろがる!つながる!

おたより
コーナー

拡大版

今月の募集テーマは ※11月号掲載予定
【おすすめの本】
写真も投稿してください! (理由も教えてください)

おたよりへの感想・お返事など、交流の場としてご利用下さい